

NPO法人総合福祉サポートセンターはだの

3 2 9 4
ひんがの ふ く し

発行 NPO法人総合福祉サポートセンターはだの
発行責任者 山口浩
秦野市緑町16-3 秦野市保健福祉センター内
☎0463-80-2940 FAX 0463-73-5039
e-mail : npo-hadano@jupiter.ocn.ne.jp
<http://www.npo-hadano.jp>

暖冬だと思っていたら、急に寒い日が増えてきましたね。今年も雪が積もるのでしょうか…。楽しみな反面、大変なことも多いので、皆様もお気をつけてお過ごし下さい。

さて、本年第1号の今号では当法人の上半期報告を中心に
ご報告させていただきます。



秦野市における地域生活支援拠点について

平成27年4月、第4期秦野市障害福祉計画において「障害者地域生活支援拠点の整備」が位置づけられ、プロジェクトチームでの検討を経て、平成28年8月「一般社団法人秦野市障害者地域生活支援推進機構」が設立され、平成29年10月に新たに「秦野市地域生活支援センター」が開設される運びとなりました。

障害者が地域で安心、安全に生活するために、日常生活での暮らしづらさの解消や職業前体験の場の提供など、自律した生活の実現に向けた相談支援、就労支援や権利擁護等に関する総合的な障害者地域生活支援サービスを提供するとともに、地域・多世代との交流促進による共に生きる地域社会づくりを目的としたセンターとなります。

秦野市地域生活支援センターには4つの機能があり、①相談支援事業、②就労支援事業、③地域活動支援事業、④成年後見事業を行います。

それに伴い、当法人の相談支援事業は平成29年10月より「一般社団法人秦野市障害者地域生活支援推進機構」の所属となり、成年後見事業は現在と変わらず「NPO法人総合福祉サポートセンターはだの」が運営していくこととなります。

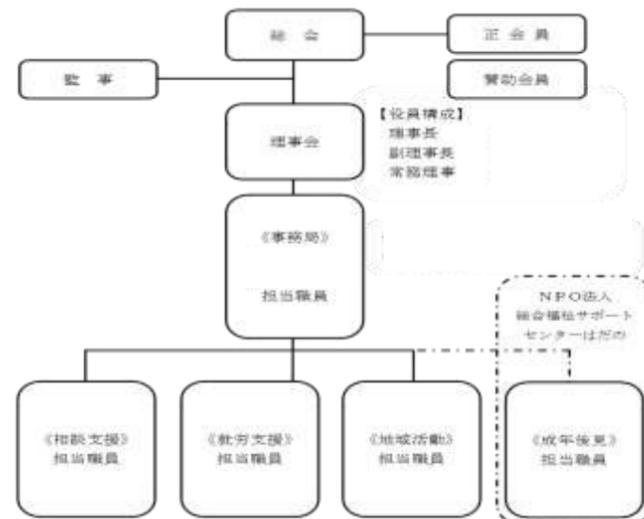
①相談支援事業では、今まで同様、地域に暮らす障害のある方たちの相談支援（基幹、一般、計画）を実施します。

②就労支援事業では、就労相談全般、ジョブコーチによる就労に向けた準備や就労継続のサポートを行い、相談支援事業等と連携しながら、地域での生活をサポートします。

③地域生活支援事業では、新たな地域交流の場を提供することで、障害者への理解促進や近隣住民の憩いの場として地域の社会基盤との連携を図ります。また、ボランティア団体やサークル活動をされている方々に活動の場としてセンターを開放し、近隣の方に愛される場となることを目指します。

④成年後見事業は、今まで同様「総合福祉サポートセンターはだの」として秦野市の障害のある方の権利擁護を目的とした法人後見を実施していきます。

当法人も設立10年を越え、変革の年となります。



※「秦野市地域生活支援センター」イメージ図

新職員紹介

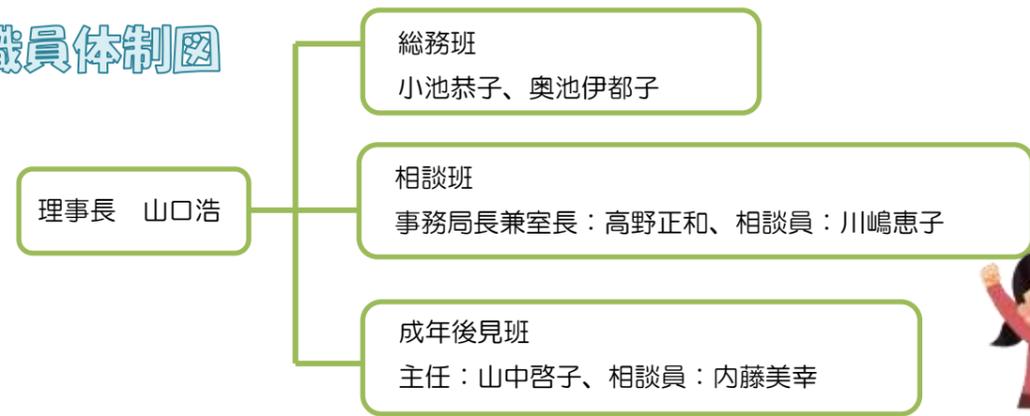
NPO法人総合福祉サポートセンターはだの 総務班 奥池 伊都子

ご縁があって、平成28年5月から週に2回程、働かせていただいております、奥池伊都子（おくいけいつこ）です。こちらに来ている日以外の平日は秦野市の小中学校で、特別支援学級の介助員として働き、6年目になります。

今からちょうど1年位前、5年勤めた学校からいよいよ異動だな（基本的には3~4年で異動です）と寂しい気持ちでいたときに、保健福祉センターの前で偶然、20年来仲良くさせてもらっている室長の高野さんに会いました。その時、私は唐突に「保健福祉センターで良いお仕事ないですか？」と聞きました。深層心理としては、異動がなく自宅から近い魅力的な職場であったとは思うのですが、今思い出しても、その言葉がなぜ口をついて出たのか謎のままです。でも、だからこそ、その後、声をかけていただき、ここで働いているのは、ご縁があったことだと感じるのです。

4月からは、こちらの事業所のみで働きます。対外的なお付き合いも増えるであろう中、人様のお名前を覚えるのに、時間がかかるようになった今日この頃、失礼がないよう頑張ります。

職員体制図



第2回基幹相談支援センター研修会を開催しました！

平成29年1月28日（土）に丹沢レジデンシャルホーム副施設長・岡西博一様をお招きし、第2回基幹相談支援センター研修会を開催致しました。今回の研修会は、昨年発足した「秦野市サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者ネットワーク会議」との合同開催ということもあり、秦野市内のサービス提供事業所、相談支援事業所から20名以上の方にご参加いただきました！

サービス管理責任者と相談支援専門員がどのように連携して利用者の希望する生活を叶えるか？それぞれの立場でどのような支援が考えられるのか？を中心にみんなで勉強をすることが出来ました。グループワークでは各グループが熱い議論を交わしながら、楽しい支援方針が次々出てくるのを見ていて、秦野の支援者はやっぱりすごい！と感じました。最後に「どんなに世の中のIT技術が進んでも、顔を合わせて話し合うことが大事」という講師の言葉は本当にその通りで、これからもお互いに顔の見える関係を大切にしていきたいですね！



編集後記

当法人も設立10周年を経過し、新体制となり早半年以上が経過しました。秦野市における地域支援の体制も大きく様変わりをしていっています。そのような中で、当法人がどのような役割を求められ、どのような役割を果たしていくのかを改めて考える時期になってきたと感じております。ニーズや法律など変わりゆくものの中で、当法人が大切にしている「地域生活支援」「利用する皆様を中心にした支援」「権利擁護の視点」「中立公平・公正な立場」という基本理念は変わらず、今後も職員一丸となって、努力していきたいと思っております。

相談支援事業

平成 28 年度も委託事業である「一般相談支援事業」「基幹相談支援センター事業」と、いわゆる計画相談の「指定相談支援事業」を実施しております。

平成 28 年度上半期においても障害種別の相談内訳は例年と大きな変化はなく、知的障害の方が 48%と最多でした。発達障害の方の件数は少ないものの、例年と比べると 2 倍になっているのが特徴です。

相談方法については電話等が 68%と多くなっております。委託相談、基幹相談については電話による対応が多くなっておりますが、計画相談においては訪問件数が他の事業と比較して多い傾向にあります。これは計画作成に際してのアセスメントやモニタリングで、自宅や事業所への訪問が多いことがあげられます。

委託相談における 1 回の相談にかかる平均時間は、電話相談は 25 分、来所相談は 50 分、訪問相談は 69 分となっており、来所・訪問ともに 60 分前後となっています。尚、この時間には移動時間は含まれていない為、他市の事業所への訪問などにおいては、さらに長時間の対応が必要となっています。

これらを踏まえつつ、下半期も丁寧な相談支援の実施に向け、事業所内で今後の体制を検討していく予定です。

	住居	日常生活	家計・経済	就労	保育・療育・教育	健康・医療
件数	27	163	91	139	25	247
	家族関係・人間関係	社会参加・余暇活動	福祉サービス利用	障害や病状理解	精神的不安	ボランティア
件数	102	29	664	38	140	12
	自立生活・地域生活移行	権利擁護	子育て	その他	合計	
件数	8	30	16	21	1,752	

成年後見事業

平成 28 年度上半期においても 2 名で受任者への対応をしており、活動の 95%を受任者への対応に充てることができました。成年後見相談については、秦野市成年後見利用支援センターが担っている為、相談件数が大幅に減少し、申立に関する相談は 0 件となりました。普及啓発における出前ミニ講座については、秦野市成年後見利用支援センターと合同で行ったケースが 1 件ありましたが、その他の成年後見制度の概要に関する講座依頼については、すべて秦野市成年後見利用支援センターに依頼しています。今後も、当法人の活動報告における講師派遣は継続して行う予定です。

右記の表のとおり、全体の 86%を身上監護（面会、関係機関との連携、契約等諸手続き）に充てることが出来、上半期もフットワークの良い支援を行うことが出来ました。年々、家族支援が必要なケースが増加しており、関係機関との連携に多くの時間をかけるようになっていきます。今後もご本人の意向を大切にしながら、フットワークの良い支援を行えるよう、支援をしていきたいと思っております。

	活動内容	活動件数
受任	1.身上監護	1,991
	2.金銭管理	247
	3.相談	17
申立て	4.相談	0
	5.申立支援	0
相談	6.制度概要	5
	7.申立方法	1
	8.候補者について	0
	9.相続について	0
	10.後見業務について	5
	11.受任依頼	2
	12.外部機関との連絡調整	10
	13.その他	6
普及啓発	14.ミニ講座等	21
	計	2,305

防災支援事業

平成 26 年より当法人の災害時における役割について検討を重ねられる中で、平成 28 年度は 4 月・6 月・8 月の計 3 回、防災委員会を開催しました。

現在、当法人の防災支援事業については、秦野市障害者支援委員会「くらし安心部門」への統合に向け、今までに抽出された課題のまとめや今後のスムーズな引き継ぎについて検討を続けております。

地域で暮らす障害者が安心して生活できるよう、どのような防災体制が必要なのか「くらし安心部門」で引き続きご検討いただけるよう、当法人も協力していきたいと思っております。

～平成 28 年度収支補正予算～



科目	28年度予算	28年度補正予算	差異	摘要	
収入	業務委託金収入	16,000,000	16,000,000	0	秦野市障害者等相談支援事業委託業務
	事業収入	9,671,700	10,079,136	407,436	計画相談 成年後見報酬 障害程度区分認定調査
	補助事業等収入	2,340,000	2,494,000	154,000	
	会費収入	300,000	364,280	64,280	正会員 賛助会員
	雑収入	100,000	79,968	△ 20,032	寄附金 利息 退職金共済補助金
	合計	28,411,700	29,017,384	605,684	
	支出	人件費支出	24,421,047	23,851,042	△ 570,005
事務費支出		4,160,653	4,551,822	391,169	
合計		28,581,700	28,402,864	△ 178,836	

お知らせ



- 当法人のホームページが <http://www.npo-hadano.jp> に引っ越ししました。随時、情報を更新していく予定です。是非、ご覧いただけると幸いです。
- 機関紙のトップページ記事にありますように平成 29 年 10 月に「秦野市地域生活支援センター」がオープン致します。それに伴い、当法人事務所が秦野市本町に引っ越しする予定です。詳細につきましては、改めて皆様にお知らせをさせていただく予定ですが、ご心配なことや聞きたいことなどがございましたら、お気軽に当法人にお問合せ下さい。
- 賛助会員（一口 2,000 円）を募集しております。現在、多くの皆さまに二口以上のご協力をいただいております。職員一同、心より御礼申し上げます。賛助会員につきましては総務：小池まで、お気軽にお問合せ下さい。
- 現在、事務用品（椅子 2 脚）の寄付を募っております。不要になりました事務用品等ございましたら、ご連絡いただけると幸いです。